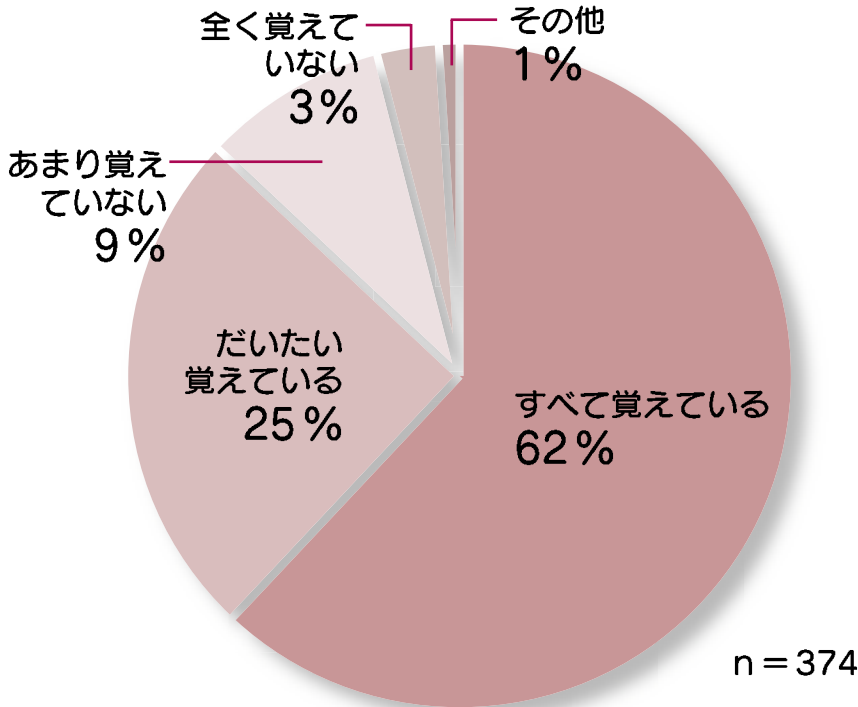


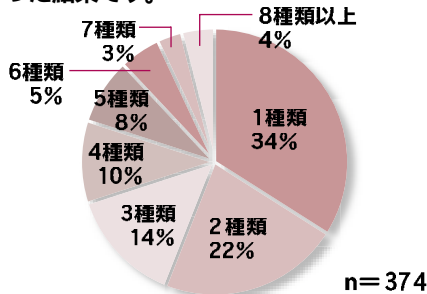
Q. 処方されている薬の名前を覚えていますか？



薬の名称を記憶している患者さんの割合は「すべて覚えている」が6割で「だいたい覚えている」を加えると9割近くに達し、高率でした。ただしこの質問の答えは、何種類の薬を服用しているのかによって大きく異なると考えられます。今回のアンケートでは、回答者の7割は3剤までとなっています（次項参照）。

Q. 何種類の薬を服用していますか？

複数の医療機関を受診している場合は処方されている薬の合計数で答えてもらった結果です。



Q. 薬について心配なことや疑問があるとき、だれに相談しますか？（複数回答）

（結果は左ページの棒グラフ）

「主治医に相談する」と答えた患者さんが9割に近く、「薬剤師に聞く」「インターネット検索」がそれぞれ4割で、それら以外はあまり多くありません。一方、医療スタッフのほうは、患者さんは薬剤師や看護師に薬の相談をしていると感じているようで、両者に若干差異がみられました。また、知り合い（医療関係者以外）に薬の相談をしていると感じている医療スタッフが45%に達しているのに対し、実際はわずか2%でした。

Q. 服用時間を守っていますか？

回答	割合
ほぼ守っている	77%
守るようにはしているが、ずれてしまうことがある	20%
あまり守っていない	2%
その他	1%

n = 376

Q. 食前の薬と食後の薬を処方されている場合、きちんと分けて飲んでいきますか？

回答	割合
しっかり飲み分けている	77%
飲み分けるようにはしているが一緒に飲んでしまうこともある	15%
ほとんどいつも一緒に飲んでいる	2%
わからない・その他	6%

n = 187

Q. 飲み忘れについてお尋ねします。どのくらいの頻度で飲み忘れれますか？

「めったに忘れない」63%、「週に1回程度忘れる」26%、「週に2～3回忘れる」10%、「週に4～5回以上忘れる」1%という状況ですが（n=372）。「その他」の中には、「服用時間は食事や運動次第で自分で決める」という人もいました。飲み忘れに気付いたときの対応は、「飲み忘れた分は服用しない」が70%、「気付いたときにすぐ服用する」23%、「その他」7%となっています（n=366）。

Q. 医師や薬剤師・看護師などに連絡や相談せず、自分の判断で服用を中止した薬はありますか？

「ない（すべて服用している）」が79%、「いつもは服用しているが血糖値や体調次第で服用しないときもある」15%、「その他」6%でした（n=371）。中には「ネットで専門医に相談した後、主治医の指示を受け1剤減らした」「錠剤を半分にして服用している」などの工夫（？）をしている患者さんもいるようです。

コメンテーター

鈴木吉彦

（日本医科大学客員教授・（財）保健同人事業団付属診療所所長）

約20%の患者さんが確実に食前と食後に分けて服薬していないようです。医師は薬の効果がないと判断し処方を変更する前に、5人に1人は服薬が適切でない可能性を考えておくべきようです。また、この現状に対し「特別な対策」の服薬指導事例には臨床に役立つヒントをたくさん見受けられます。なお、本結果は成功例の割合が多い印象を受けますが、インターネット利用者が対象です。ネットを使えない高齢者などでは適切な服薬ができない割合は増加する点に留意しておくべきでしょう。